

令和8年度 第1回浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議

次第

日時: 令和8年6月1日(月) 11:05～11:35

場所: 本庁舎4階 政策会議室

1. 開 会

2. 挨 拶

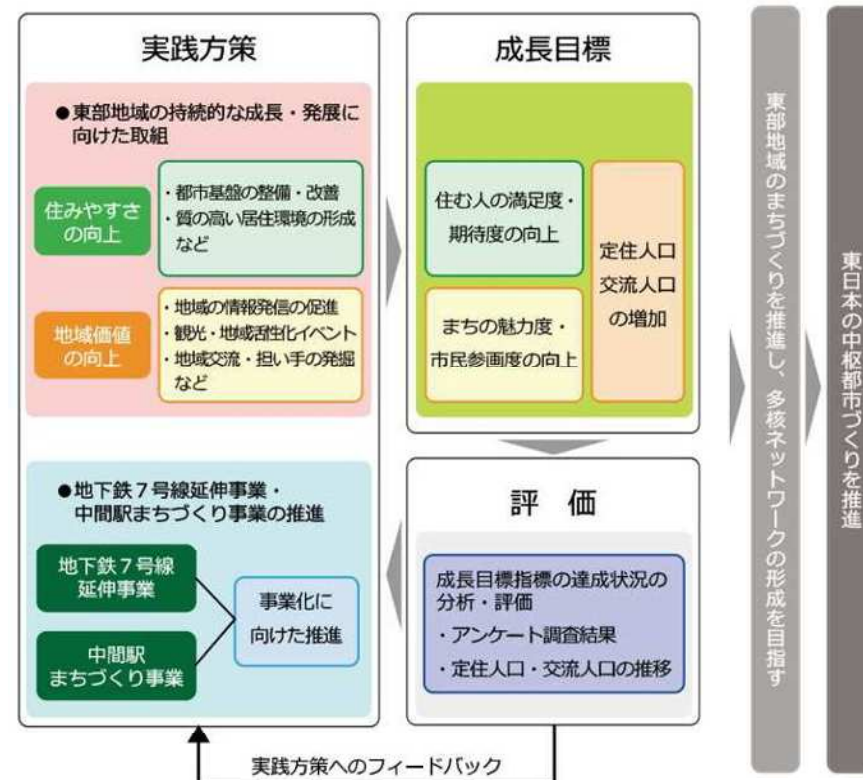
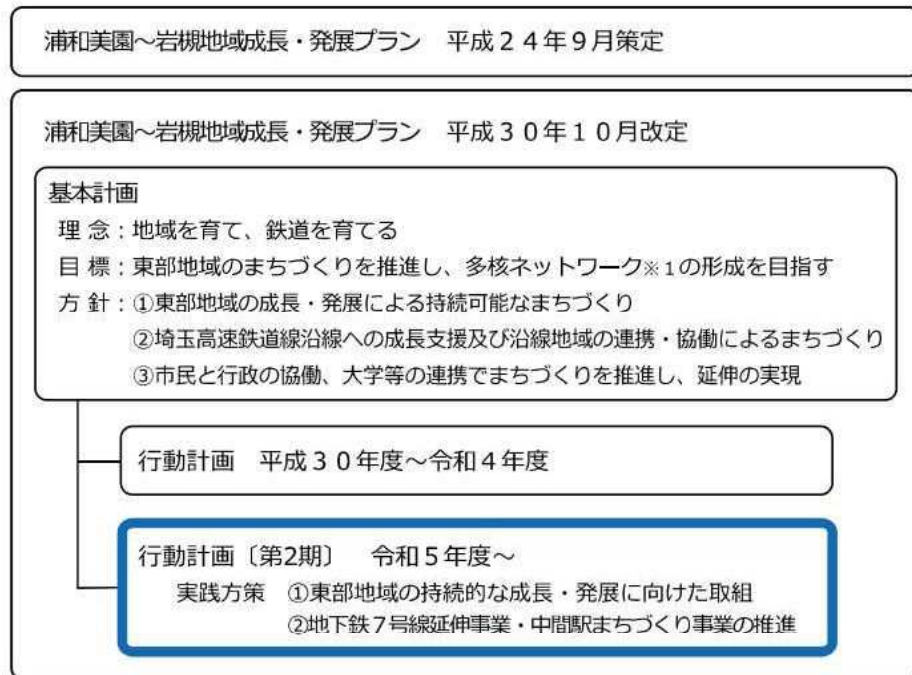
3. 議 事

- (1) 成長・発展プランのこれまでの経緯
- (2) 令和7年度の実績及び実践方策へのフィードバック
- (3) 地下鉄7号線延伸事業の取組状況
- (4) 地下鉄7号線中間駅周辺まちづくり事業の取組状況
- (5) 岩槻駅周辺のまちのあり方ビジョンの実現化の検討
- (6) 成長・発展プランの見直しに向けた取組
- (7) 今後のスケジュール

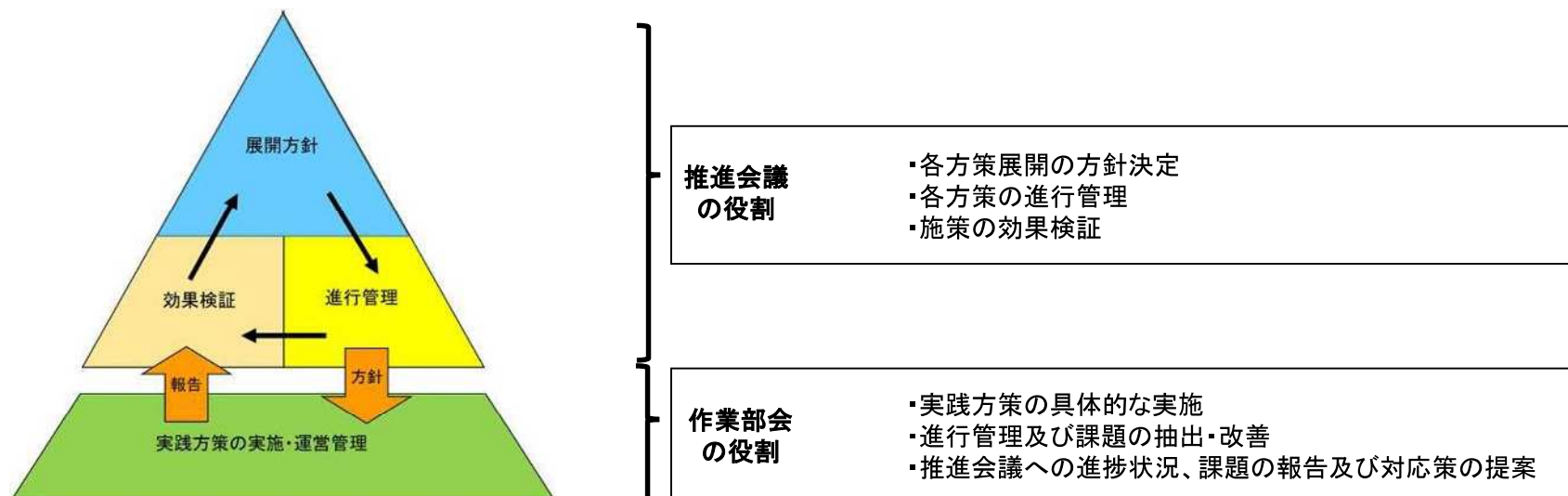
4. 閉 会

(1) 成長・発展プランのこれまでの経緯

■ 経緯及び計画体系



■ 進行管理と推進体制



(1) 成長・発展プランのこれまでの経緯

浦

4. 東部地域の持続的な成長・発展に向けた各地区の実践方策と具 体的事業

浦和美園駅周辺地区

「まちづくり」の方向性 スポーツ、健康、環境・エネルギーを テーマにした新しいまちの創造

まちづくりの先駆者として、環境・エネルギーをはじめとした多様な取組や効果を市全体に波及させることを目指し、持続性と発展性を見据えた戦略的な成長コントロールに取り組みます。

住みやすさの向上

都市基盤の整備

- ・地下鉄7号線延伸事業の推進
- ・土地区画整理事業の推進（市施行）
- ・土地区画整理事業の推進（組合施行）
- ・公園・緑地の整備



スマートホーム・コミュニティ

質の高い居住環境の形成

- ・自転車ネットワーク整備計画の推進
- ・シェアサイクルの利用促進及びエリア拡大
- ・〈公民+学〉連携によるまちづくりの推進
- ・病院等の整備計画（埼玉県）への協力
- ・認可保育所等の整備の検討



公共空間等利活用実験
（UDCMi ホームページから）



地域密着型マルシェ「みそのいち」
（UDCMi ホームページから）

地域交流・担い手の発掘

- ・参加と協働によるまちづくりの推進
- ・コミュニティ施設等の利便性向上

住みやすさの向上と地域価値の向上の2つを軸に、各地区ごとに具体的事業を設定。

地域価値の向上

地域の情報発信の促進

- ・地域の魅力情報発信
- ・観光 PR 事業
- ・企業立地の促進
- ・地場産農産物の流通・消費拡大



ウェブサイトによる情報発信

地域活性化イベント

- ・埼玉高速鉄道(株)と連携した沿線の魅力発信やイベントの実施
- ・さいたまスポーツコミッションへの支援による地域スポーツの機会創出
- ・ランニングイベントの開催



ランニングイベント
（美園人ホームページから）

(1) 成長・発展プランのこれまでの経緯

岩

4. 東部地域の持続的な成長・発展に向けた各地区の実践方策と具体的事業

岩槻駅周辺地区

「まちづくりの方向性」

城下町や人形のまちとして、歴史・文化が息づく、
ふれあいとおもてなしのまちの創出

城下町の風情や人形などの地域資源を活かし、新たな付加価値を創出し、
ふれあいとおもてなしによって、まちの魅力に磨きをかけます。
また、これからのまちづくりの担い手を育成します。

住みやすさの向上と地域価値の向上の2つを軸に、各地区ごとに具体的事業を設定。

住みやすさの向上

都市基盤の整備・改善

- ・地下鉄7号延伸事業の推進
- ・土地区画整理事業の推進（市施行）
- ・土地区画整理事業の推進（組合施行）
- ・公園・緑地の整備
- ・鉄道延伸による結節点としての岩槻駅周辺地区の都市基盤のあり方の検討



仲町りんどう公園

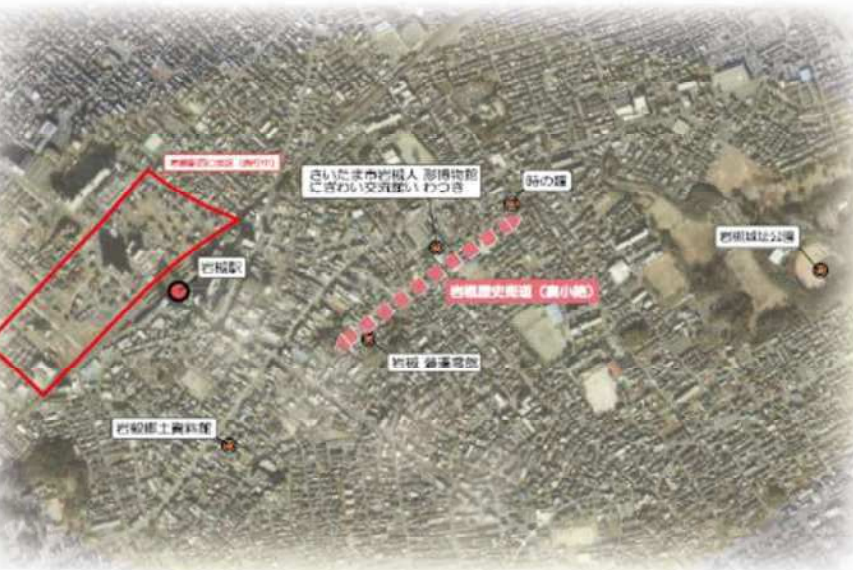
質の高い居住環境の形成

- ・自転車ネットワーク整備計画の推進
- ・シェアサイクルの利用促進及びエリア拡大
- ・身近な公共交通の充実



公共空間でのマルシェイベント

- 6 -



地域交流・担い手の発掘

- ・地域の事業者と連携した商業活性化の取組の推進
- ・リノベーションまちづくりの推進
- ・参加と協働によるまちづくりの推進
- ・コミュニティ施設等の利便性向上



リノベーションまちづくりによる事業化

地域価値の向上

地域資源を活用した 魅力や賑わいの創出

- ・岩槻歴史街道事業
- ・ウォーカブルなまちづくりに向けた取組
- ・岩槻人形博物館を拠点とした人形文化の振興・発信



岩槻人形博物館

地域の情報発信の促進

- ・地域の魅力情報発信
- ・観光PR事業
- ・企業立地の促進
- ・にぎわい交流館いわつきの活用

観光・地域活性化イベント

- ・五節句イベントの開催とPR
- ・地域観光資源の活用
- ・ウォーキングイベントの開催（岩槻区）



人形のまち岩槻まつり

- 7 -

(1) 成長・発展プランのこれまでの経緯

中

4. 東部地域の持続的な成長・発展に向けた各地区の実践方策と具 体的事業

中間駅周辺地区・その他東部地域

「まちづくり」の方向性

自然と共存し、地域資源を活用したまちの創造

現行の地域資源を最大限に活用するため に新たな創造力をもって施策を展開し、鉄道延伸及び中間駅設置にあわせたまち づくりを戦略的に創造します。

住みやすさの向上

都市基盤の整備

- ・ 地下鉄 7 号線延伸事業の推進
- ・ 中間駅まちづくり事業の推進
- ・ 核都市広域幹線道路の延伸の推進



中間駅周辺まちづくりワークショップ

質の高い居住環境の形成

- ・ 自転車ネットワーク整備計画の推進
- ・ 身近な公共交通の充実



中間駅周辺まちづくりのウォカブル空間イメージ



中間駅周辺まちづくりの地区の将来イメージ

地域 交流・担い手の発掘

- ・ 目白大 学の公開講座の開催
- ・ 参加と 協働によるまちづくりの推進



目白大学の公開講座
(目白大学ホームページから)

地域価値の向上

地域の情報発信の促進

- ・ 地域の魅力情報発信
- ・ 観光 PR 事業
- ・ 見沼田圃の活用・情報発信
- ・ 企業立地の促進



見沼・さざ山交流広場



見沼たんぼフォトコンテスト

観光・地域活性化イベント

- ・ さいたまーチ ～見沼ソーデーウォーク～
- ・ ウォーキングイベントの開催（見沼区）



さいたまーチ
～見沼ソーデーウォーク～

住みやすさの向上と地域価値の向上の2つを軸に、各地区ごとに具体的事業を設定。

鐵

地下鉄7号線の延伸により東京都心部・さいたま市中心部へのアクセス性が高まり、交通ネットワークが充実されます。これにより速達性の向上や利便性の向上による東部地域の成長・発展は飛躍的に推進するとともに、沿線地域への新たな都市機能の立地促進、周辺地域からの来訪者の増加など、さいたま市全域に波及効果が期待されます。



- 東京圏の鉄道ネットワーク強化
 - 東武アーバンパークラインへ結節
 - 安定した鉄道輸送サービス提供
 - ・都心部への連達性の向上
 - ・乗換減少による利便性の向上
 - ・鉄道空白（不図）地域の解消
 - ・既存の鉄道路線の混雑緩和
 - ・高齢者の移動手段（公共交通）の確保

- 災害時等の代替路線機能の充実
 - 多様な代替ルートによるリスク回避
 - ・ 通勤、通学の平行路線遅延時の代替
 - ・ 延伸線沿線の埼玉スタジアム、各種公共施設と連携した災害時のリスク対応

中間駅周辺地区は、鉄道沿線の浦和美園・岩槻地区と連携しながら、豊かな自然環境を活かし、多様なライフスタイルを尊重することで、人々がつながり、ウェルビーイングを実現できるまちの形成を図ります。

テーマ1	ニューノーマルに相适应し、多様なニーズに対応した働き方を実現するまち
方針①	在宅ワークなどフレキシブルワークに対応したとりある生活環境を創出します。
方針②	多様なライフスタイルに合わせた生活の質の豊かさ（ＱＯＬ）の向上を目指します。
テーマ3	自然と最先端技術が融合した持続可能なまち
方針①	SDGs・ゼロカーボン実現に向けた環境・情報・エネルギーシステムを導入します。
方針②	県庁公民の連携による、地域と人の積極的関わりなど社会集約に取り組みます。
方針③	先端技術を基にした安全に暮らせるまちづくりを推進します。

方針①	スマートな交通結節点と臨み地のよいオープンスペースによるワーク・オアシスを推進します。
方針②	公園などの豊かな自然を日常と近接した滞在できる空間により、人々のつながりと地域活力を創造します。
テーマ4 <u>市域内外のつながりにより成長し続けるまち</u>	
方針①	各種施設を共有することにより、さいたま市全域への波及効果を目指します。
方針②	誇りと愛郷、志願との連携と地域特性を踏かした持続成長を目指します。
方針③	中間駅周辺地域での連携を強化し、まちづくりの実現に向け地方自治体と連携を強化します。

緑を保存する土地利用

地域美を伝える環境を育むには、自然の緑を大切にする必要があります。緑地の保全と活用を促すための土地利用計画を進めます。

身近な生活施設

商業施設、子育て施設、健康増進施設など、生活に身近な施設を整えます。地域の活性化を図ります。

安全な交通ネットワークの確保

安全な交通ネットワークを整備します。地域の活性化を図ります。

商店の特色を活かした商業の振興

地域の特色を活かした商業の振興を図ります。地域の活性化を図ります。

ウォーカブルなオープンスペースの創出

歩行者優先の歩道と併せて、ウォーカブルなオープンスペースを確保します。

高学級児童による地域ブランドの向上

高学級児童による地域ブランドの向上を図ります。地域の活性化を図ります。

(2) 令和7年度の実績及び実践方策へのフィードバック

■ 令和7年度の実績

① 実践方策の達成状況

(件数)

実践方策の 達成状況	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	種別		全体	種別		全体	種別		全体
	住みやすさの 向上に係る方策	地域価値の 向上に係る方策		住みやすさの 向上に係る方策	地域価値の 向上に係る方策		住みやすさの 向上に係る方策	地域価値の 向上に係る方策	
目標を上回って 達成	3	6	9	5	6	11	2	6	8
目標をおおむね 達成	14	15	29	10	14	24	13	14	27
目標を未達成	1	1	2	3	2	5	2	1	3
合計	18	22	40	18	22	40	17	21	38

達成状況の評価の基準

目標を上回って達成: 達成率110%以上

目標をおおむね達成: 達成率90%～110%未満

目標を未達成: 達成率90%未満

全体
38事業中約92%が目標を達成

住みやすさの向上
に係る方策
17事業中
約88%が目標を達成

地域価値の向上
に係る方策
21事業中
約95%が目標を達成

(2) 令和7年度の実績及び実践方策へのフィードバック

■ 令和7年度の実績(各地区の主な取組状況)

【浦和美園駅周辺地区】

◎公園緑地の整備



(仮称)岩槻南部新和西地区近隣公園等におけるPark-PFI

◎〈公民＋学〉連携によるまちづくりの推進



地域密着型マルシェ「みそのいち」

◎地域スポーツの機会創出



さいたまマラソン in 埼スタ

【岩槻駅周辺地区】

◎ウォーカブルなまちづくりに向け取組

◎地域の事業者と連携した商業活性化の取組の推進



岩槻まちなかミーティング

◎リノベーションまちづくりの推進



創業希望者の育成講座等の実施

◎地域の魅力情報の発信



魅力発信サイト「浦和美園～岩槻地域ガイド」での動画発信

【中間駅周辺地区】

◎中間駅まちづくり事業の推進



地下鉄7号線中間駅まちづくり方針改定版

◎地域・活性化イベント



さいたまマーチ～見沼ソーデーウォーク～

◎見沼田圃の活用・情報発信



見沼秋フェス2025 in さぎ山

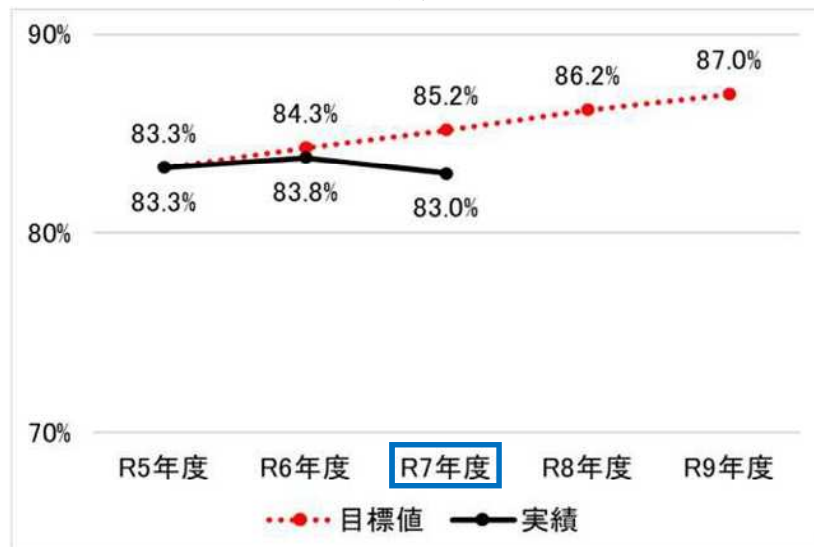
(2) 令和7年度の実績及び実践方策へのフィードバック

■ 令和7年度の実績

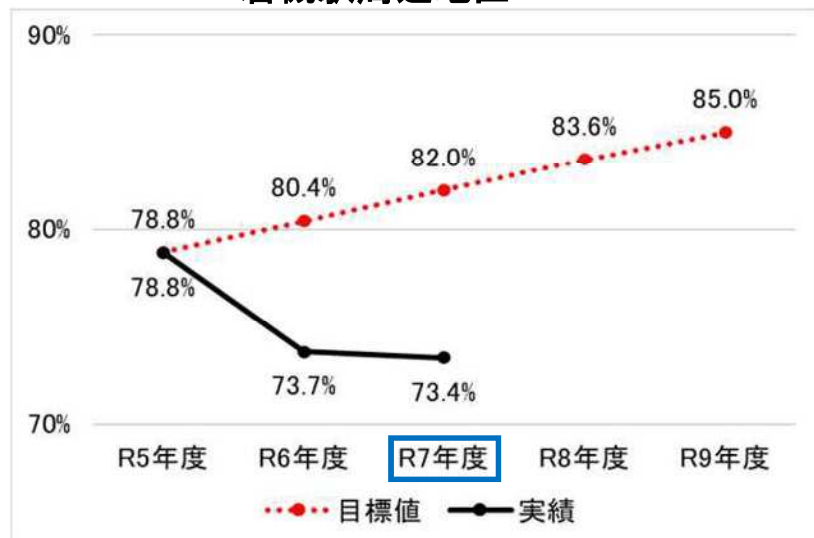
② 成長目標(住む人の満足度・期待度、まちの魅力度・市民参画度)に対する達成状況

【住みやすいと感じる割合】

浦和美園駅周辺地区

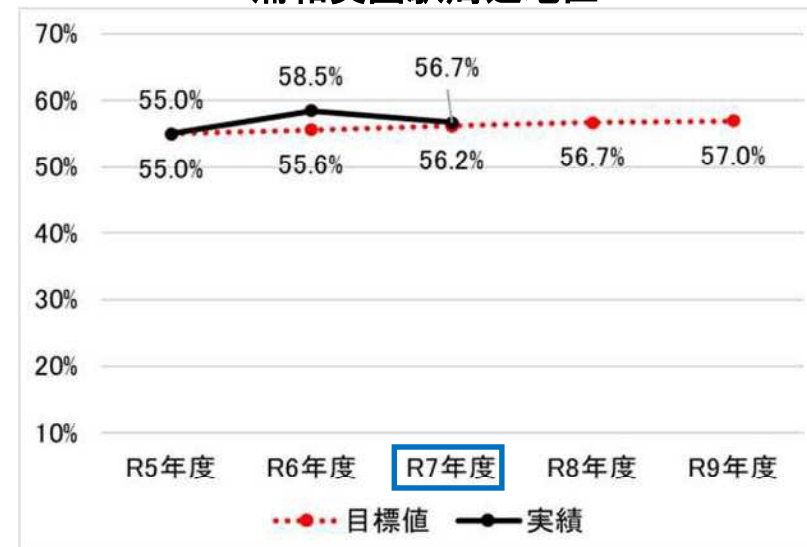


岩槻駅周辺地区

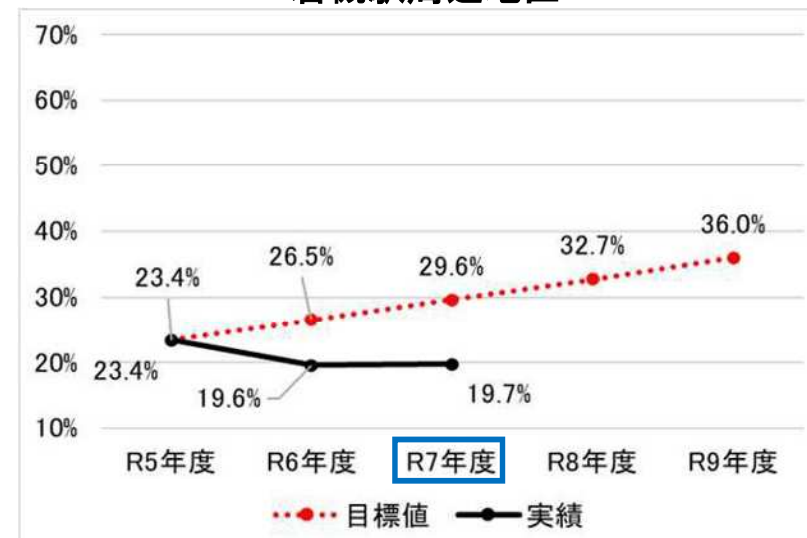


【賑わい・活気があると感じる割合】

浦和美園駅周辺地区



岩槻駅周辺地区



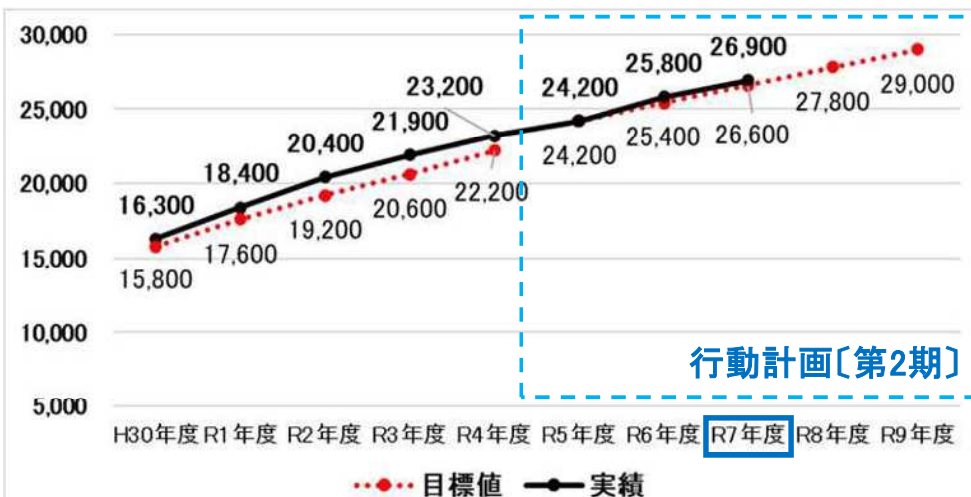
(2) 令和7年度の実績及び実践方策へのフィードバック

■ 令和7年度の実績

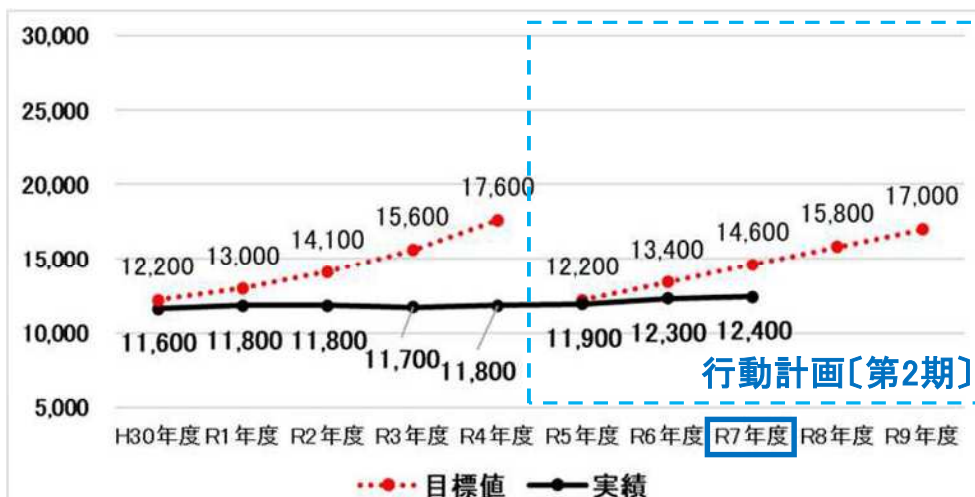
② 成長目標(定住人口・交流人口)に対する達成状況

【定住人口】

浦和美園駅周辺地区



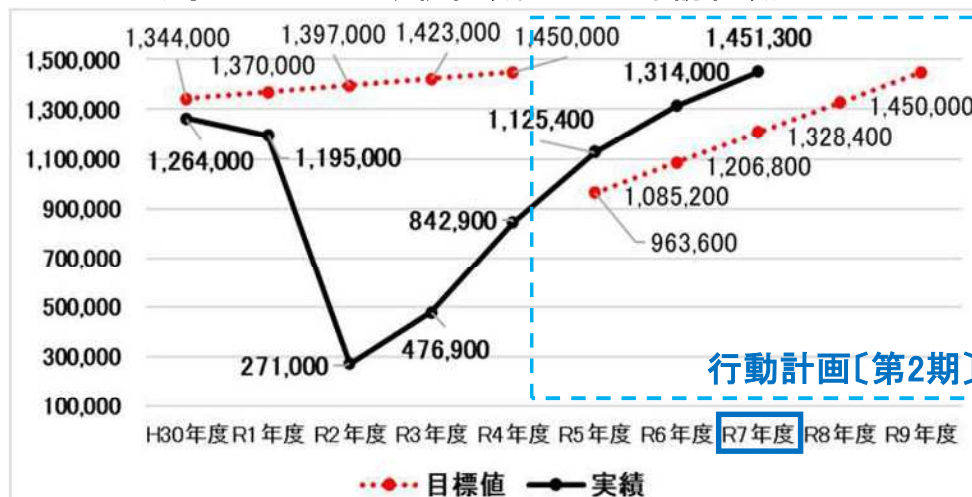
岩槻駅周辺地区



【交流人口】

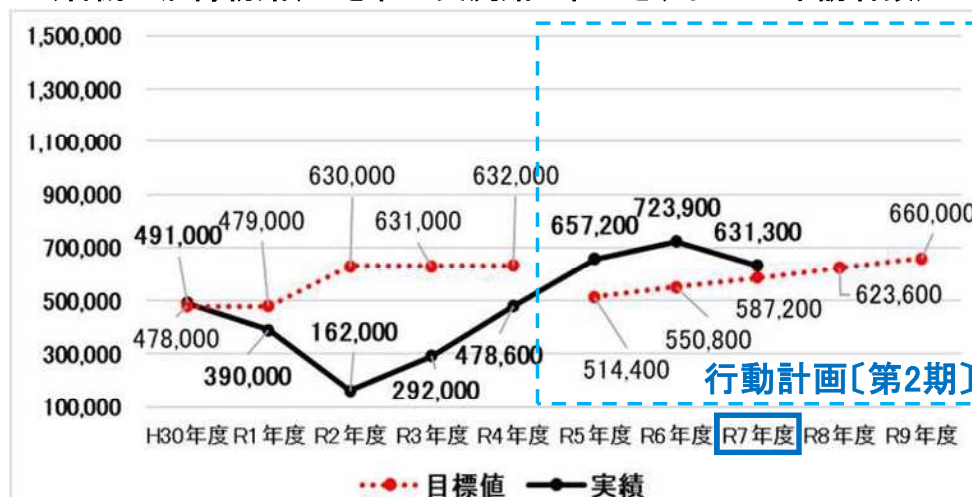
浦和美園駅周辺地区

(埼玉スタジアム観戦者数、イベント来訪者数)



岩槻駅周辺地区

(岩槻人形博物館、にぎわい交流館いわつき、イベント来訪者数)



(2) 令和7年度の実績及び実践方策へのフィードバック

令和7年度の実績

③住民意識アンケート調査結果

調査概要

浦和美園～岩槻地域の成長と発展に資する事業の実施につなげるために、岩槻駅と浦和美園駅から、それぞれ概ね半径1kmの範囲の地域にお住まいの18歳以上の方を対象に、両地域から無作為に1,000名ずつ抽出し住民意識アンケートを実施。

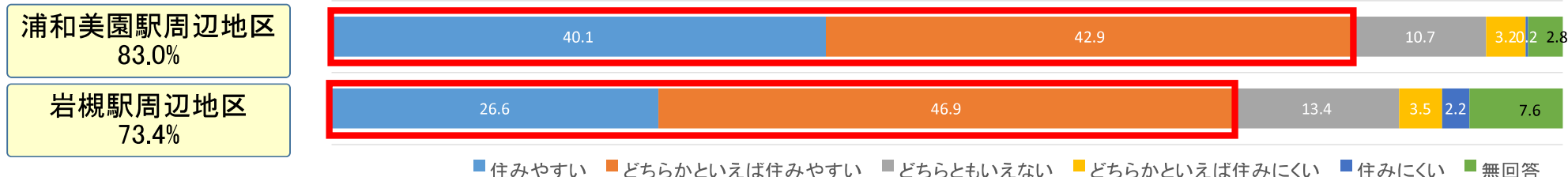
実施状況

回答期間 令和7年11月17日～令和7年12月25日

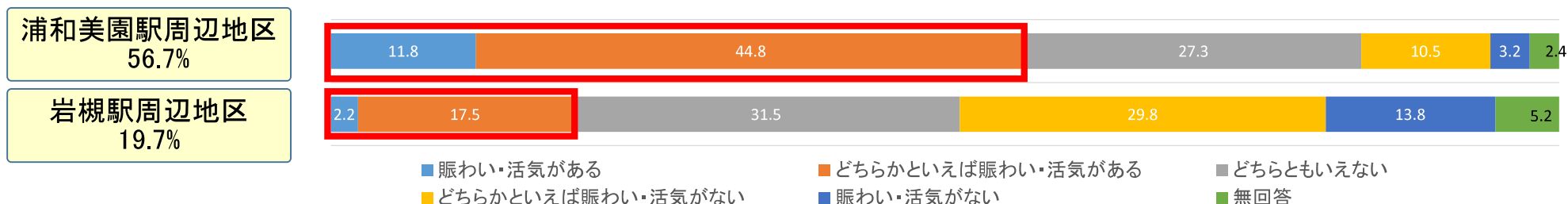
回答人数

浦和美園駅周辺 466名 / 岩槻駅周辺 463名

住みやすいと感じる割合 《あなたがお住まいの「地域」の住みやすさについて、どのように感じていますか。》



賑わい・活気があると感じる割合 《あなたがお住まいの地域の賑わい・活気について、どのように感じていますか。》



地域の魅力のPRについて 《お住いの地域の魅力について、十分にPRされていると感じますか。》

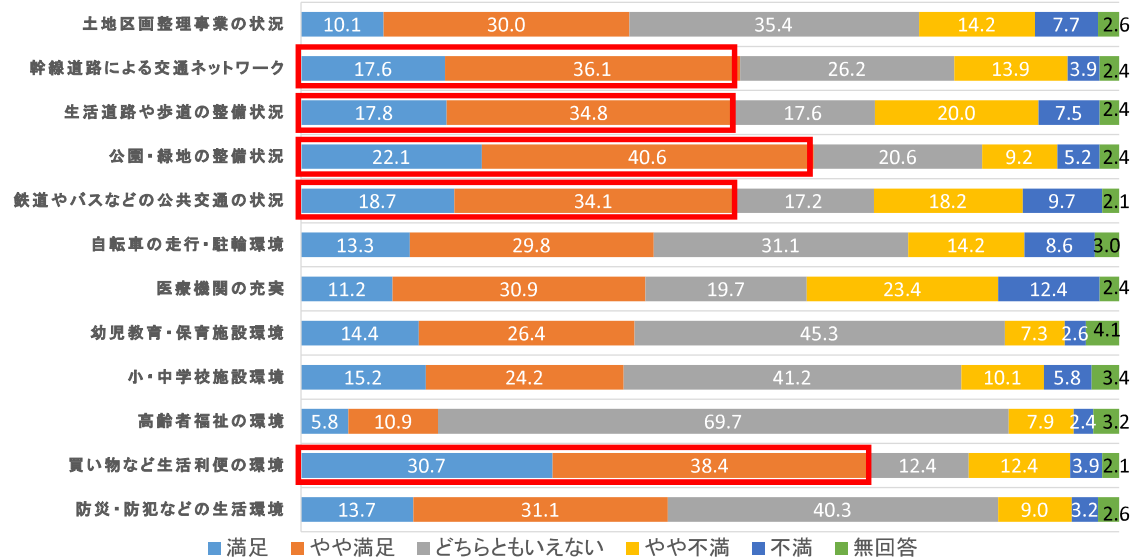


(2) 令和7年度の実績及び実践方策へのフィードバック

③住民意識アンケート調査結果

住みやすさについて 《お住まいの地域の以下の項目に対し、どの程度満足していますか。》

浦和美園駅周辺地区 地域の満足度(浦和美園駅周辺)



浦和美園駅周辺

●都市基盤

○満足度が高い項目

- ・幹線道路による交通ネットワーク(53.7%)
- ・生活道路や歩道の整備状況(52.6%)
- ・公園・緑地の整備状況(62.7%)

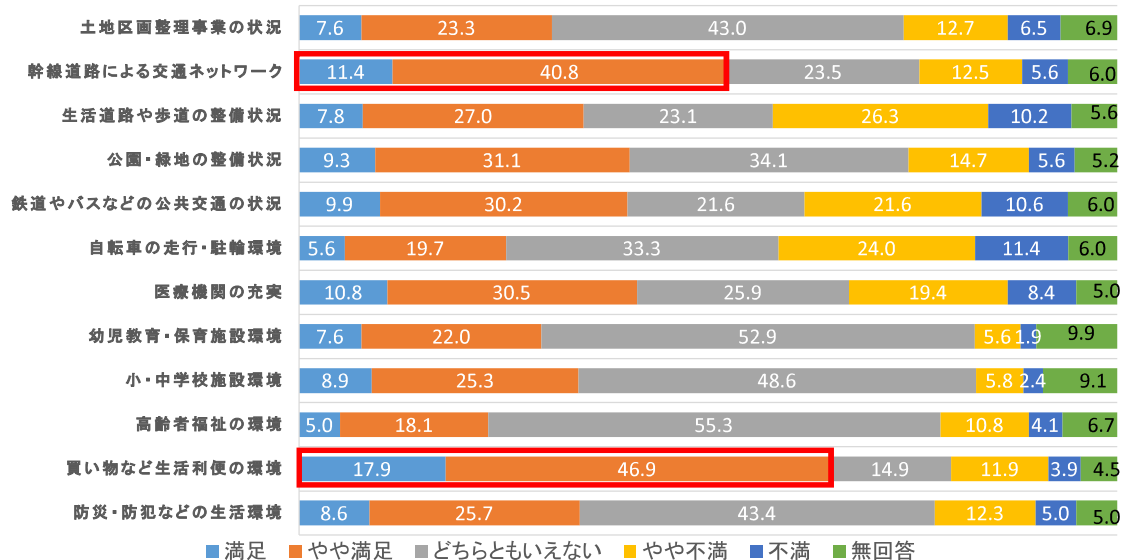
●居住環境

○満足度が高い項目

- ・鉄道やバスなどの公共交通(53.4%)
- ・買い物など生活利便の環境(69.1%)

岩槻駅周辺地区

地域の満足度(岩槻駅周辺)



岩槻駅周辺

●都市基盤

○満足度が高い項目

- ・幹線道路による交通ネットワーク(52.2%)

●居住環境

○満足度が高い項目

- ・買い物など生活利便の環境(64.8%)

(2) 令和7年度の実績及び実践方策へのフィードバック

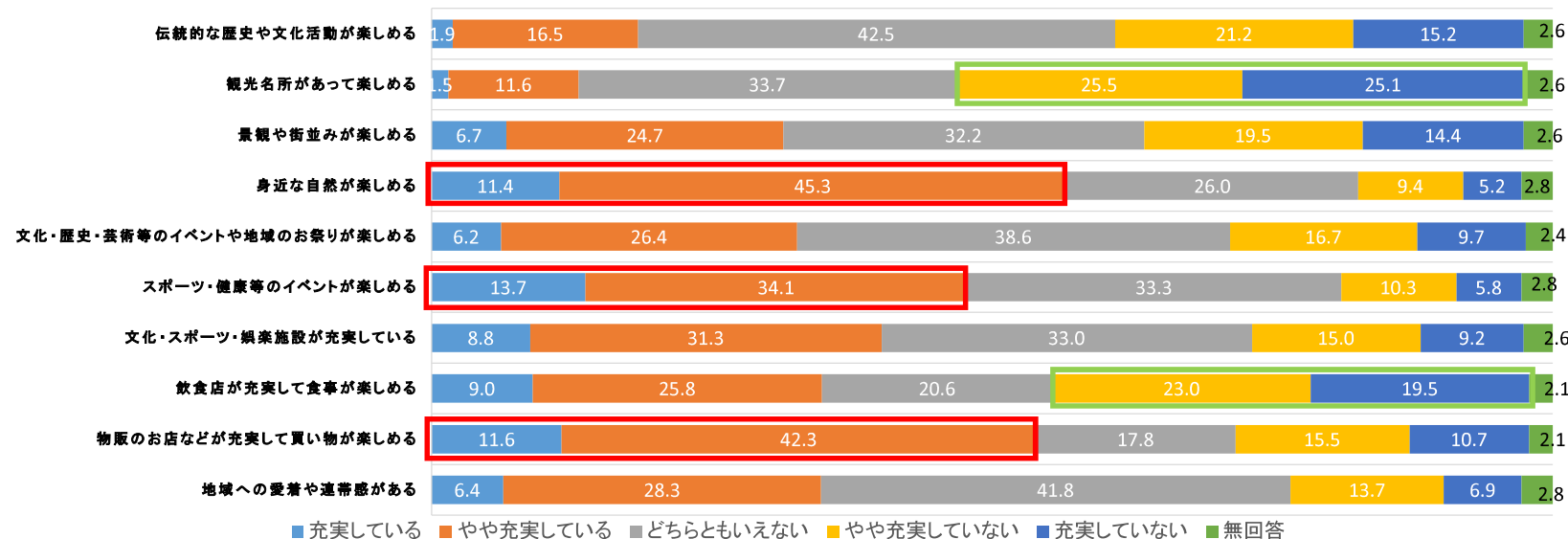
③住民意識アンケート調査結果

地域の魅力について

《お住まいの地域の魅力に関する以下の項目について、どの程度充実していると感じていますか。》

浦和美園駅周辺地区

地域の魅力度（浦和美園駅周辺）



浦和美園駅周辺

○充実度が高い項目

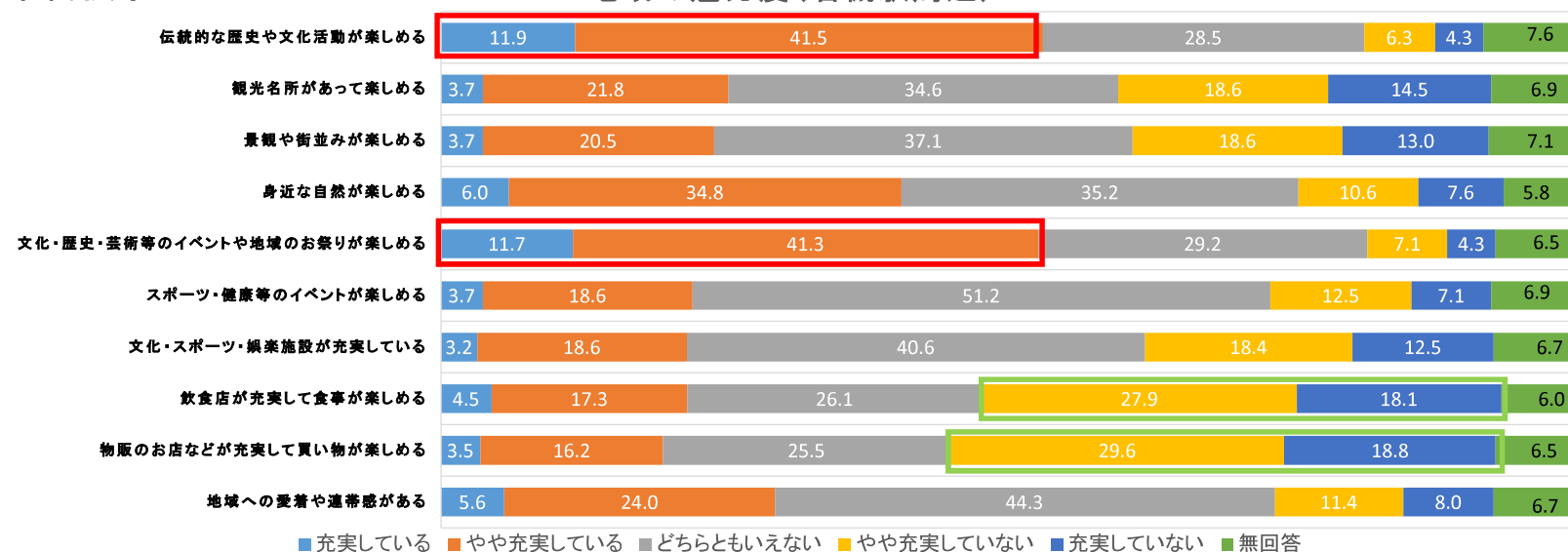
- 身近な自然を楽しめる (56.7%)
- スポーツ健康等のイベント (47.8%)
- 物販の店などの充実度 (53.9%)

○充実度が低い項目

- 観光名所 (50.6%)
- 飲食店の充実度 (42.5%)

岩槻駅周辺地区

地域の魅力度（岩槻駅周辺）



岩槻駅周辺

○充実度が高い項目

- 伝統的な歴史や文化活動 (53.4%)
- 文化イベントや地域の祭り (53.0%)

○充実度が低い項目

- 飲食店の充実度 (46.0%)
- 物販の店などの充実度 (48.4%)

(2) 令和7年度の実績及び実践方策へのフィードバック

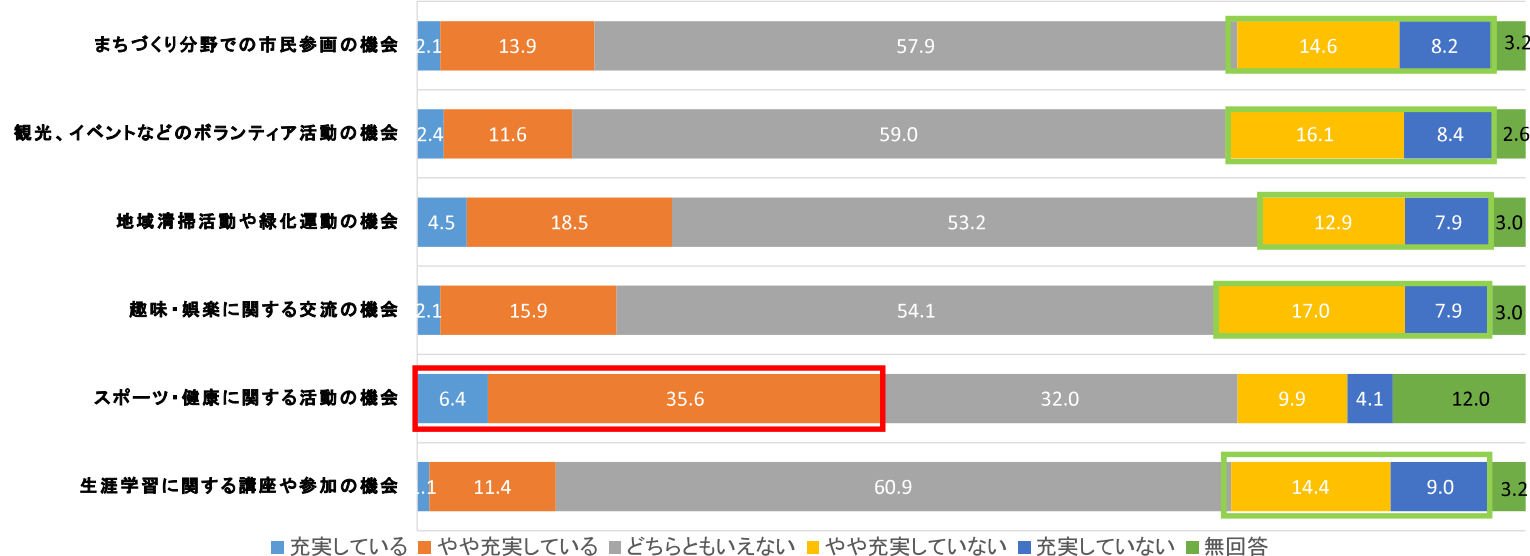
③住民意識アンケート調査結果

地域交流等について

《お住まいの地域で開催されている地域交流や市民参画の機会について、どの程度充実していると感じますか。》

浦和美園駅周辺地区

地域交流・市民参画（浦和美園駅周辺）



浦和美園駅周辺

各項目について、どちらともいえないとの回答が多く、評価が分かれています。

○充実度が比較的高い項目

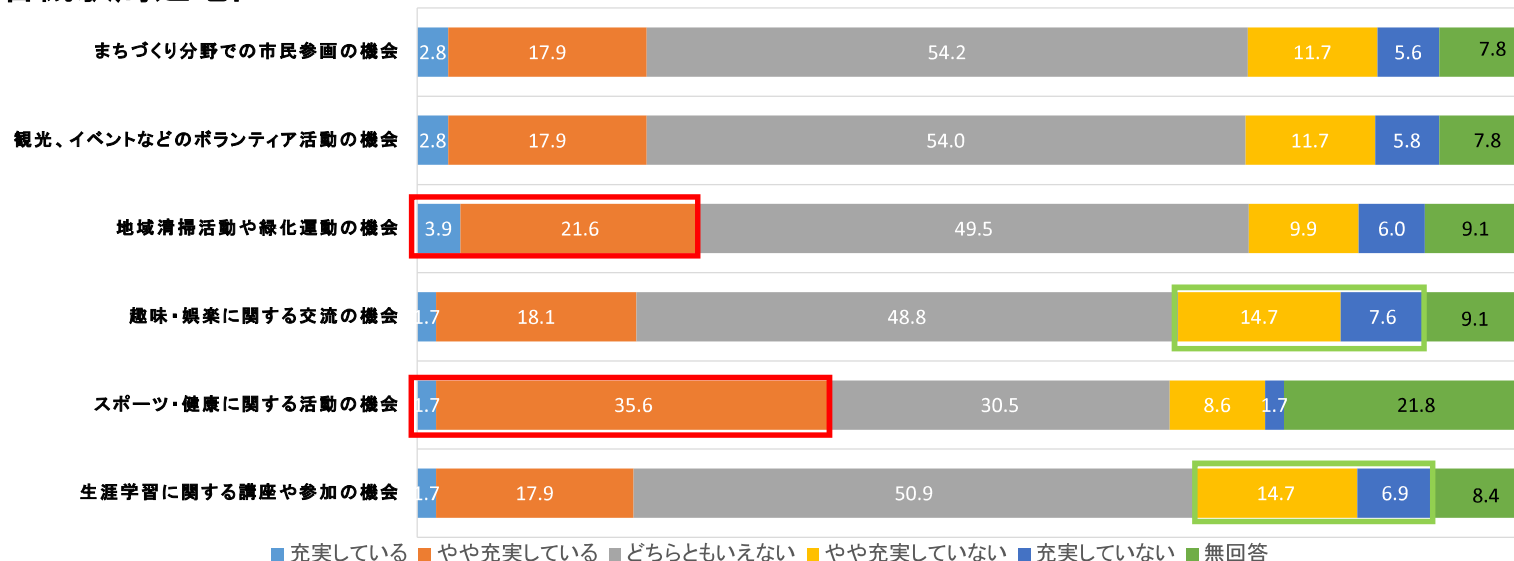
- ・スポーツ・健康の活動（42.0%）

○充実度が比較的低い項目

- ・まちづくりに関する参画機会（22.8%）
- ・観光、イベントボランティア（24.5%）
- ・地域清掃活動や緑化運動（20.8%）
- ・趣味・娯楽の機会（24.9%）
- ・生涯学習の講座等の機会（23.4%）

岩槻駅周辺地区

地域交流・市民参画（岩槻駅周辺）



岩槻駅周辺

各項目について、どちらともいえないとの回答が多く評価が分かれています。

○充実度が比較的高い項目

- ・地域の清掃活動等（25.5%）
- ・スポーツ・健康の活動（37.3%）

○充実度が比較的低い項目

- ・趣味・娯楽の機会（22.3%）
- ・生涯学習の講座等の機会（21.6%）

(2) 令和7年度の実績及び実践方策へのフィードバック

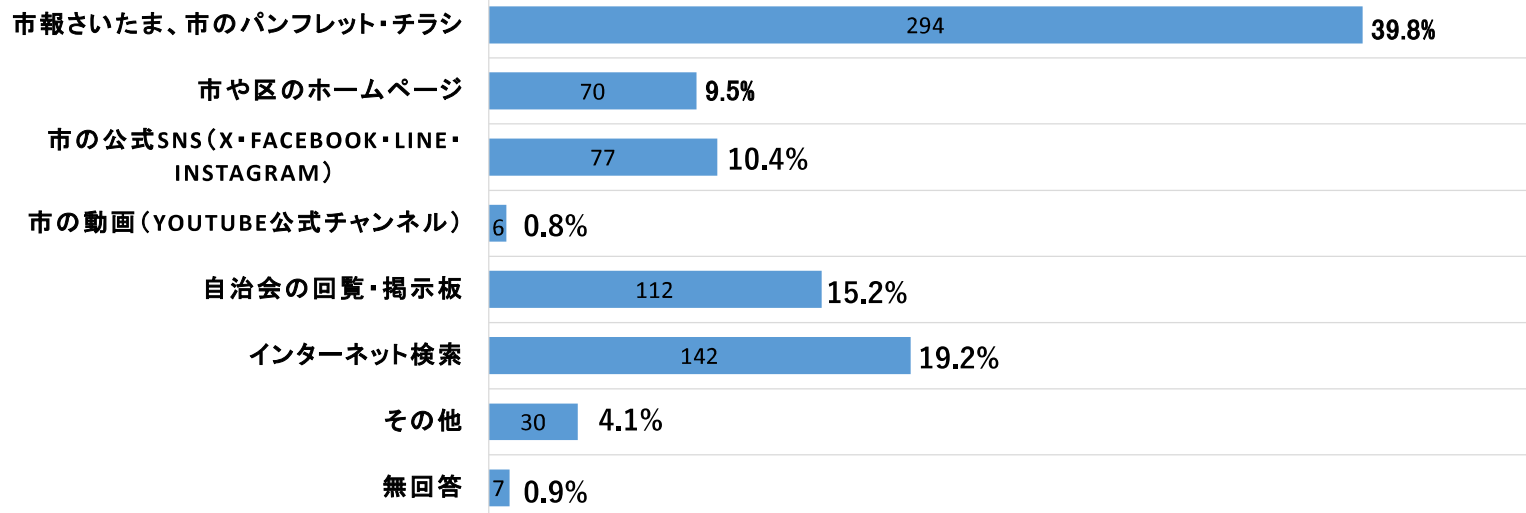
③住民意識アンケート調査結果

情報の入手手段について

《あなたは普段、お住まいの地域の情報を入手する手段として、以下の媒体をどの程度利用していますか。》

浦和美園駅周辺地区

情報発信の入手方法(浦和美園駅周辺)



浦和美園駅周辺

○利用度が高い項目

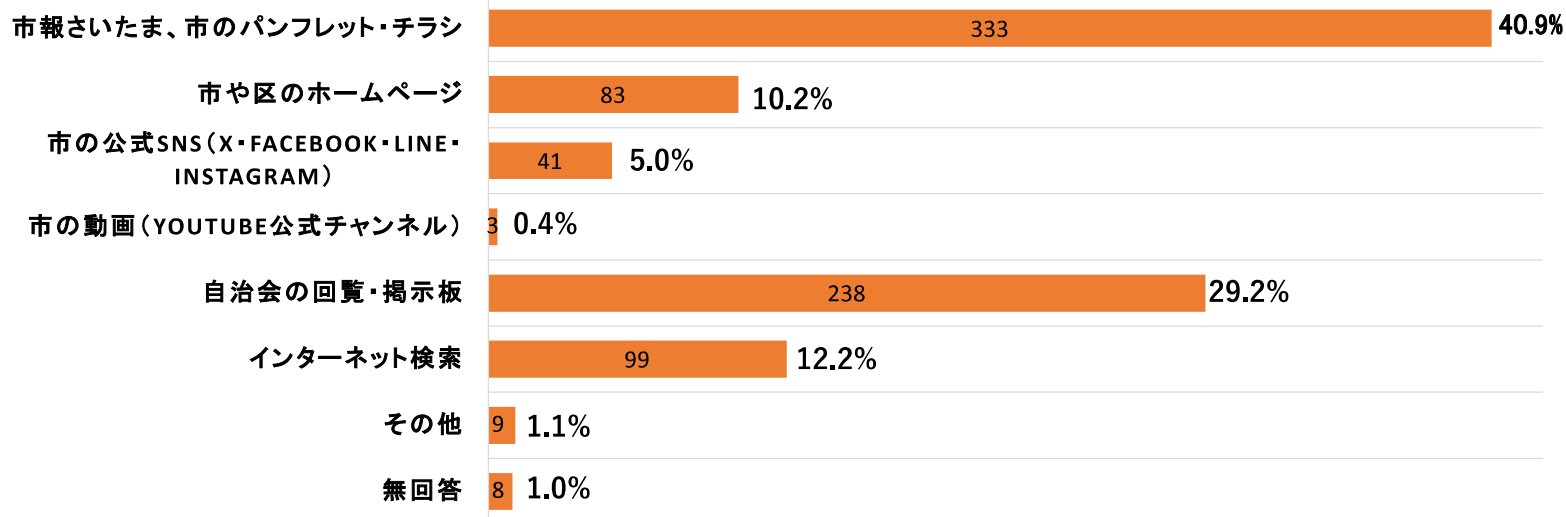
- ・市報、市のチラシ等(39.8%)
- ・インターネット検索(19.2%)
- ・自治会の回覧・掲示板(15.2%)

○利用度が低い項目

- ・市の動画、YouTube(0.8%)
- ・市や区のホームページ(9.5%)

岩槻駅周辺地区

情報発信の入手方法(岩槻駅周辺)



岩槻駅周辺

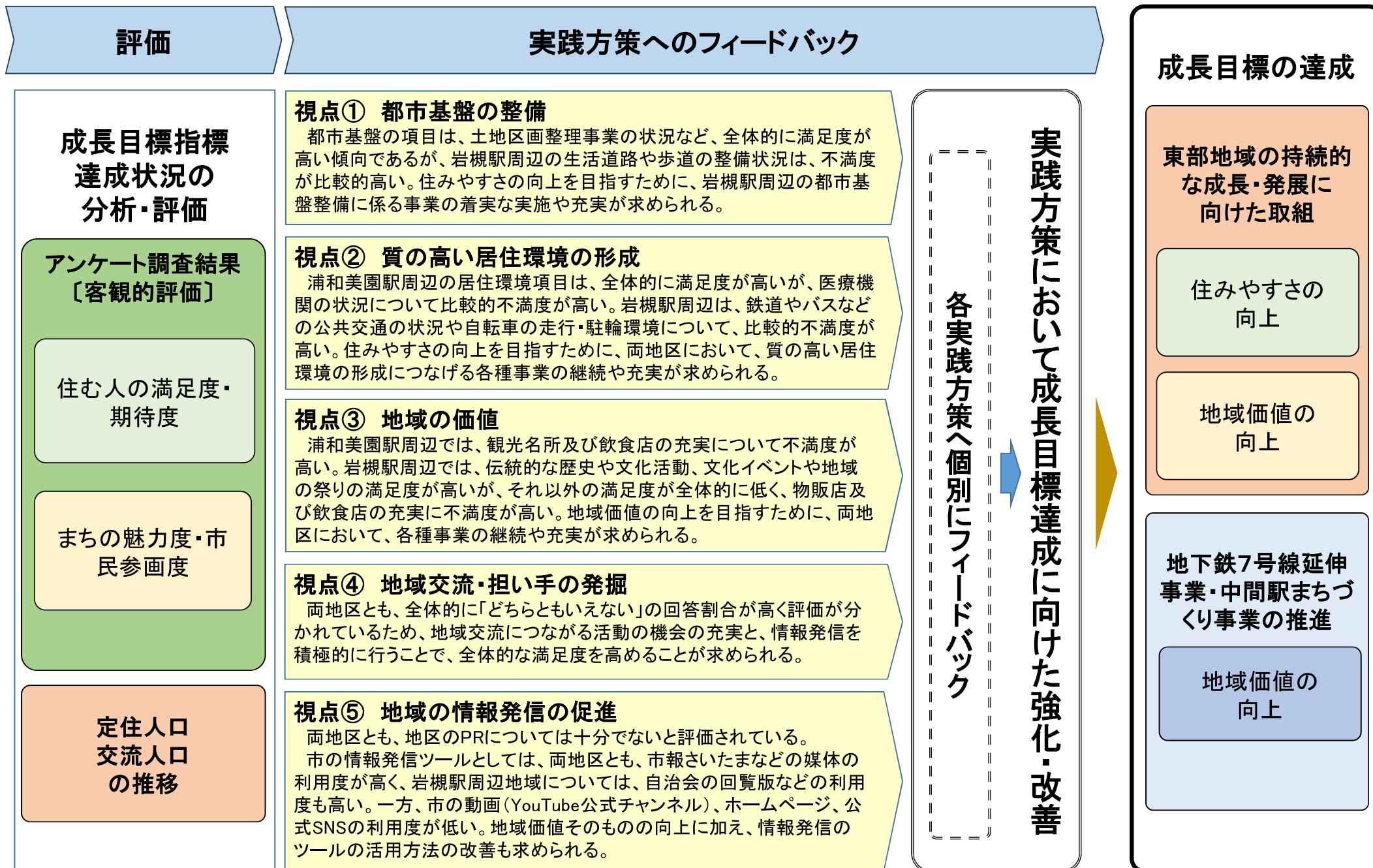
○利用度が高い項目

- ・市報、市のチラシ等(40.9%)
- ・自治会の回覧板・掲示板(29.2%)

○利用度が低い項目

- ・市の動画、YouTube(0.4%)
- ・市の公式SNS(5.0%)

(2) 令和7年度の実績及び実践方策へのフィードバック



(3) 地下鉄7号線延伸事業の取組状況

令和8年1月13日 埼玉高速鉄道線延伸の早期事業化に向けた支援に係る県市共同要望

市長が、大野元裕埼玉県知事と共に、埼玉高速鉄道線(地下鉄7号線)延伸の早期事業化に向けた支援について、金子恭之国土交通大臣へ要望を実施。

要望内容

- 埼玉高速鉄道線(地下鉄7号線)延伸(浦和美園～岩槻区間)の事業実施要請を見据えた財務当局との速やかな協議
- 都市計画決定に合わせた国庫補助事業化
- 事業の円滑な推進のため、予算の安定的な確保及び現実的な支援スキームの確立



(向かって左から)大野埼玉県知事、清水さいたま市長、金子国土交通大臣、村井衆議院議員

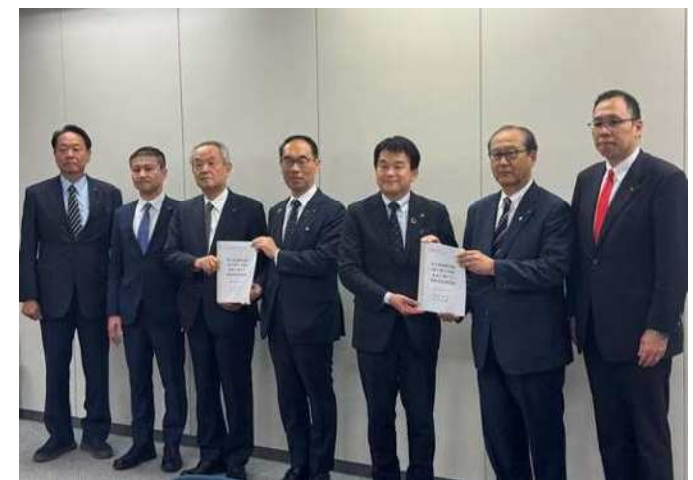
令和8年3月31日 埼玉高速鉄道線(地下鉄7号線)延伸に関する事業実施要請

埼玉県とさいたま市は、令和8年3月31日に、都市鉄道等利便増進法(平成17年法律第41号)第11条第1項の規定に基づき、鉄道事業者に対して、埼玉高速鉄道線(地下鉄7号線)延伸に関する速達性向上事業の実施を要請。併せて、速達性向上事業に関する計画の素案を鉄道事業者へ提示。

要請者 埼玉県、さいたま市

要請先 営業主: 埼玉高速鉄道株式会社

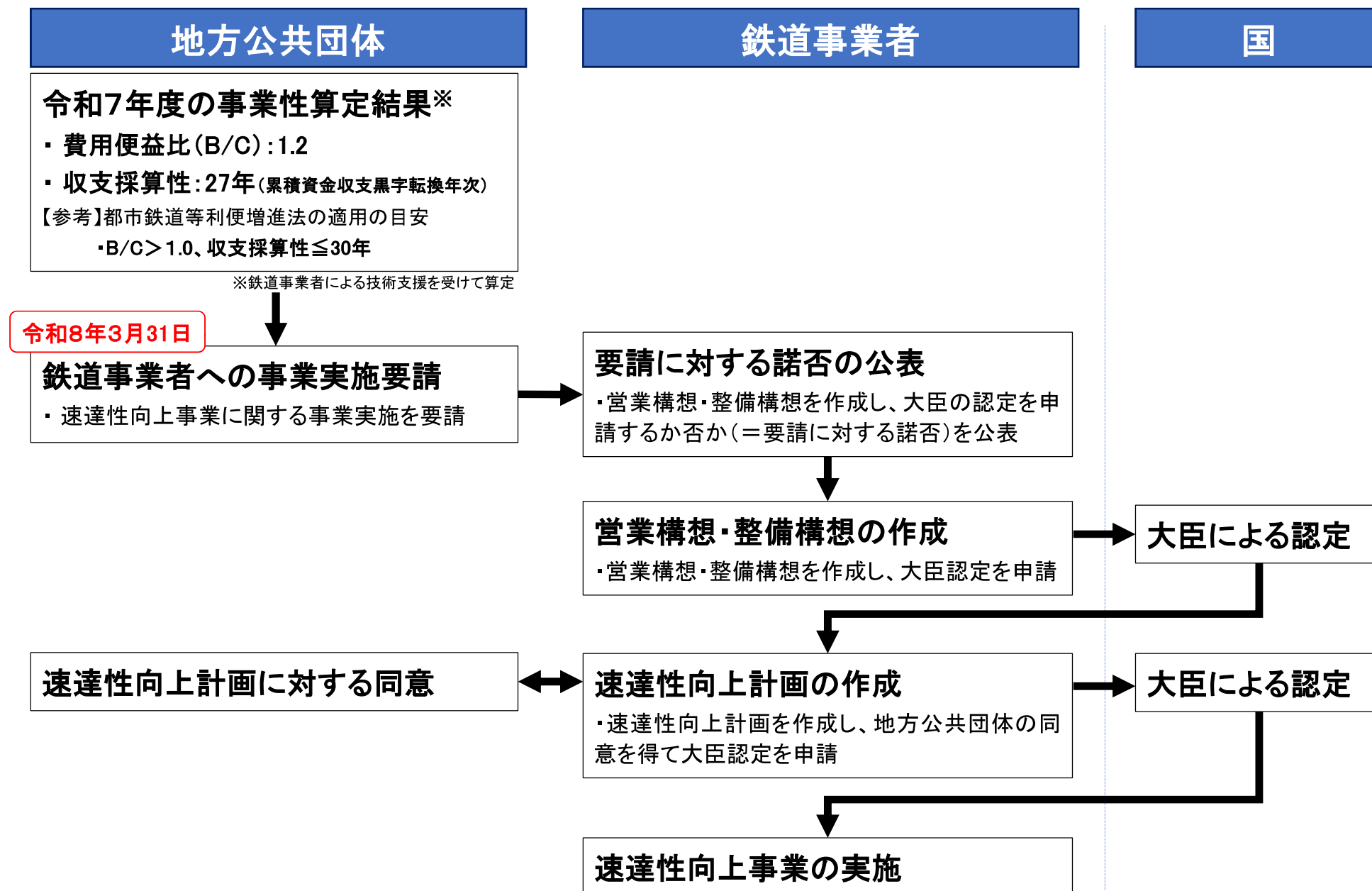
整備主体: 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構



(向かって左から)小島埼玉県議、荒木埼玉県議、藤田鉄道・運輸機構理事長、大野埼玉県知事、清水さいたま市長、平野埼玉高速鉄道社長、伊藤さいたま市長

(3) 地下鉄7号線延伸事業の取組状況

地下鉄7号線延伸(速達性向上事業実施)に向けた流れ



(4) 地下鉄7号線中間駅周辺まちづくり事業の取組状況

■令和8年1月13日 地下鉄7号線中間駅周辺まちづくり方針の改定

●改定の概要

- 令和4年度に、地下鉄7号線延伸計画の進展に合わせ、中間駅周辺のまちづくりに関し、「地下鉄7号線中間駅まちづくり方針」を作成。
- その後、社会情勢の変化や地域住民等のご意見を踏まえ、まちづくりの規模を見直し。
- そこで、「地下鉄7号線中間駅まちづくり方針有識者会議」を設置・開催し、まちづくりの規模やあらたなまちの在り方とその実現に必要な施策のイメージ等について専門的かつ多角的な視点から意見を聴取するとともに、オープンハウス形式による説明会での御意見を踏まえ、令和8年1月13日に「地下鉄7号線中間駅まちづくり方針」を改定。

●対象地域の現状

- 現状の土地の利用状況は、畑や山林等の自然的土地利用が半数を占めており、屋敷林や社寺林といった樹林地が点在するなど**自然豊かな環境**となっている。一方で、住宅用地や工業用地等も点在。
- 一部高低差が入り組んでいる箇所もあるものの、東西の河川エリアに挟まれた**比較的なだらかな台地**が形成されている。

●まちづくりの規模

○定住人口：約10,000人

○対象面積：約120ha



(4) 地下鉄7号線中間駅周辺まちづくり事業の取組状況

■ 中間駅周辺まちづくりのコンセプト

～みどりと未来にこころ浮き立つ、人を育てる100年続くまちづくり～

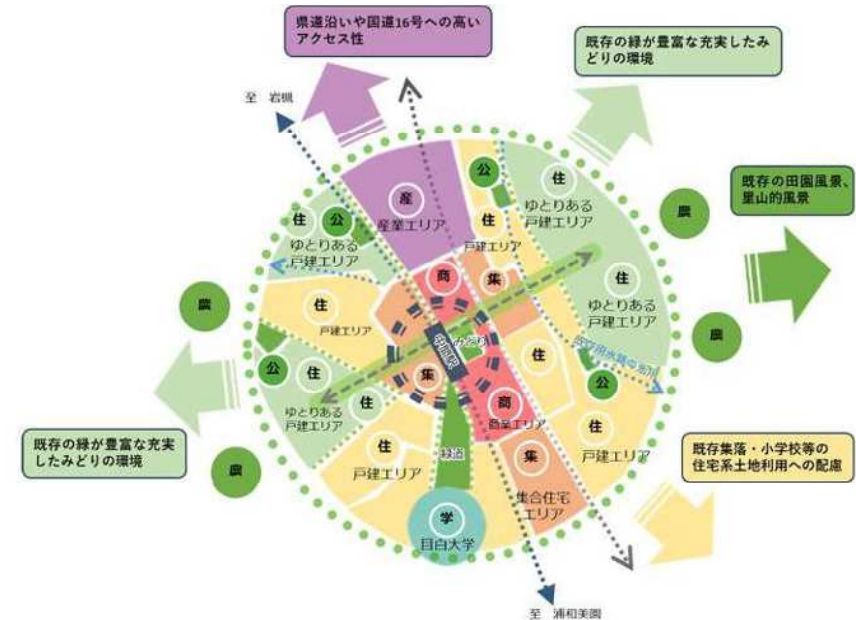


- 中間駅周辺には、かつて湧き水が存在していたことから「浮き立つ土地」を意味する「浮谷」と呼ばれてきた歴史がある。
- 豊かなみどりの保全と先端技術を活用した未来感あふれ、人々がワクワクするような魅力ある空間の創出によって、ここで生まれ育つ人の営みが100年続くような循環を生み出すことを目標とする。

■ 施策展開

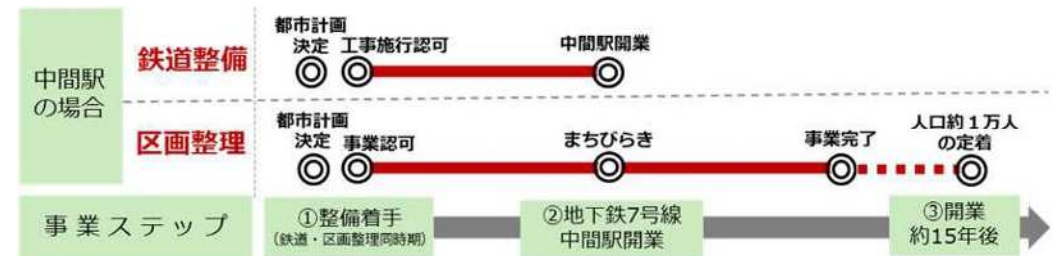
- 施策①: まちのシンボルとなる駅まち空間の形成
- 施策②: 住民に選ばれるコンパクトなまちの形成
- 施策③: 企業に選ばれる産業エリアの創出
- 施策④: 環境と共生するとともに新技術を活用したまちづくり

■ 土地利用イメージ



- 駅まで徒歩10分程度(半径約800m)の範囲を基本として、ウォーカブルで緑豊かな環境として整備し、対象エリア内に都市機能を集約。
- 周辺の住宅エリアでは、地区外の農業エリアとの連携により里山的風景が広がる環境を創出し、新たな田園都市的まちづくりを形成。

■ 鉄道事業とまちづくりの一体的な実施



(5) 岩槻駅周辺のまちのあり方ビジョンの実現化の検討

■ 令和8年1月13日 岩槻駅周辺まちのあり方ビジョンの策定

● 策定の概要

- 岩槻駅周辺地区は、地下鉄7号線の延伸に伴い鉄道結節点となり、地区のポテンシャルが向上することを踏まえ、「岩槻駅周辺まちのあり方ビジョン検討有識者会議」を設置・開催し、結節後の新たなまちのあり方やその実現に必要な施策のイメージ等について専門的かつ多角的な視点から意見を聴取。
- 併せて、オープンハウス形式による説明会でのご意見を踏まえ、令和8年1月13日に、「岩槻駅周辺まちのあり方ビジョン」として取りまとめ。

● 岩槻駅周辺の課題

課題①

既存事業や取組を活かしつつ、地下鉄7号線延伸のインパクトを踏まえるとともに、単なる乗換駅とならないような岩槻駅周辺のまちづくりが必要

課題②

岩槻駅周辺はさいたま市の中でも高齢化率が高く、次世代を担う若者や子育て世代の定住・転入を促進するまちづくりが必要

課題③

まちの賑わいや物販の充足度等に関する住民の満足度が低く、魅力的なまちづくりや賑わいの創出が必要

課題④

岩槻駅周辺の公共交通（鉄道以外も含む）の利便性が 高いとは言えず、公共交通の更なる利便性向上や 駅東西の連携強化を図ることが必要

課題⑤

駅周辺に未利用地や容積率の利用実績の低い地区等があり、土地・空間の有効活用が必要

課題⑥

来街者の増加が地域経済の活性化に十分につながっているとは言えず、両者をつなげる取組が必要

課題⑦

歩道整備や自転車の走行・駐輪環境に関する住民の満足度は高くなく、自転車利用者や歩行者の利便性の向上が必要

● 施策の方向性

方向性1. まちの玄関口としての岩槻駅前空間の充実 …【課題①②⑦】

《施策の例》

- ・交通結節点としての乗り換え戦略の検討
- ・まちの玄関口としての東口駅前広場再構築
- ・オープンスペースや滞留空間の確保 など

方向性2. 駅周辺部の土地・空間の有効活用による賑わいづくり …【課題①②⑤】

《施策の例》

- ・未利用地／容積率の有効活用促進施策
- ・都市計画の見直しによる開発誘導
- ・景観／まちなみルールの設定 など

方向性3. 交通ネットワークの充実による地区内外の連携強化 …【課題②④⑦】

《施策の例》

- ・ウォーカブル施策の推進／自転車利用の促進
- ・多様なモビリティの導入検討 など

方向性4. 観光交流・商業振興の充実、歩行者のウォーカブル …【課題②③⑥⑦】

《施策の例》

- ・回遊ルートの設定・整備
- ・地域の魅力の情報発信の強化 など

方向性5. 市民参加とエリアマネジメントの推進 …【課題③⑥】

新たなまちづくりの展開

これまでのまちづくりの継続と拡充

地域住民との共創

(5) 岩槻駅周辺のまちのあり方ビジョンの実現化の検討

●まちの将来像のイメージ

○駅前広場の再整備・活用イメージ



・乗換の「通路」だけでなく、多様な人々が思い思いの時間を過ごせる憩いと出会いの「広場」

・地元の事業者が主体となった賑わい空間の維持・運営

○ストリートの賑わいづくり(商店街)



・歩行者の目線に入る広義のパブリックなグランドレベル(建物低層階、空地、街路等)の魅力を活かし、チャレンジしたい、居場所がほしい、つながりをつくりたい、すべての人に開かれた場所

・日常と観光の両方を支える地域の拠点

○歴史文化を活かした街並みと歩きやすさ



・地域の資源が歩道から「見える化」された沿道の建物

・歩行者が快適に歩ける歩道空間

●令和8年度の重点的な取組内容

○「岩槻駅周辺まちのあり方ビジョン」でイメージを提示した岩槻駅前広場の再整備・活用に関し、実現に向けた検討に着手する。

○地下鉄7号線延伸の都市計画決定を令和11年度に行うことを見据え、鉄道結節点となる岩槻駅東口の駅前広場の再整備の基本的な計画を令和10年度中に取りまとめることを目指す。

検討の視点

○「岩槻駅周辺まちのあり方ビジョン」を踏まえ、ロータリー中心の広場から滞留できる「ひと」重視の広場空間へのシフトを目指す。

○再整備により、「まちの玄関口」、「賑わいの拠点」、「通過点ではなく結節点」としてエリアの価値を高めるため、乗り継ぎ利便性の向上、滞留できる環境空間の確保、街への回遊性を高める

検討事項

○岩槻駅東口駅前広場及び周辺の利用実態・交通実態の調査・把握

○滞留・交流空間(環境空間)及びロータリー(交流空間)の必要な施設・規模等の検討

○エリアマネジメントに向けた地域意見の把握

○関係機関との協議(交通事業者、交通管理者、道路管理者等)

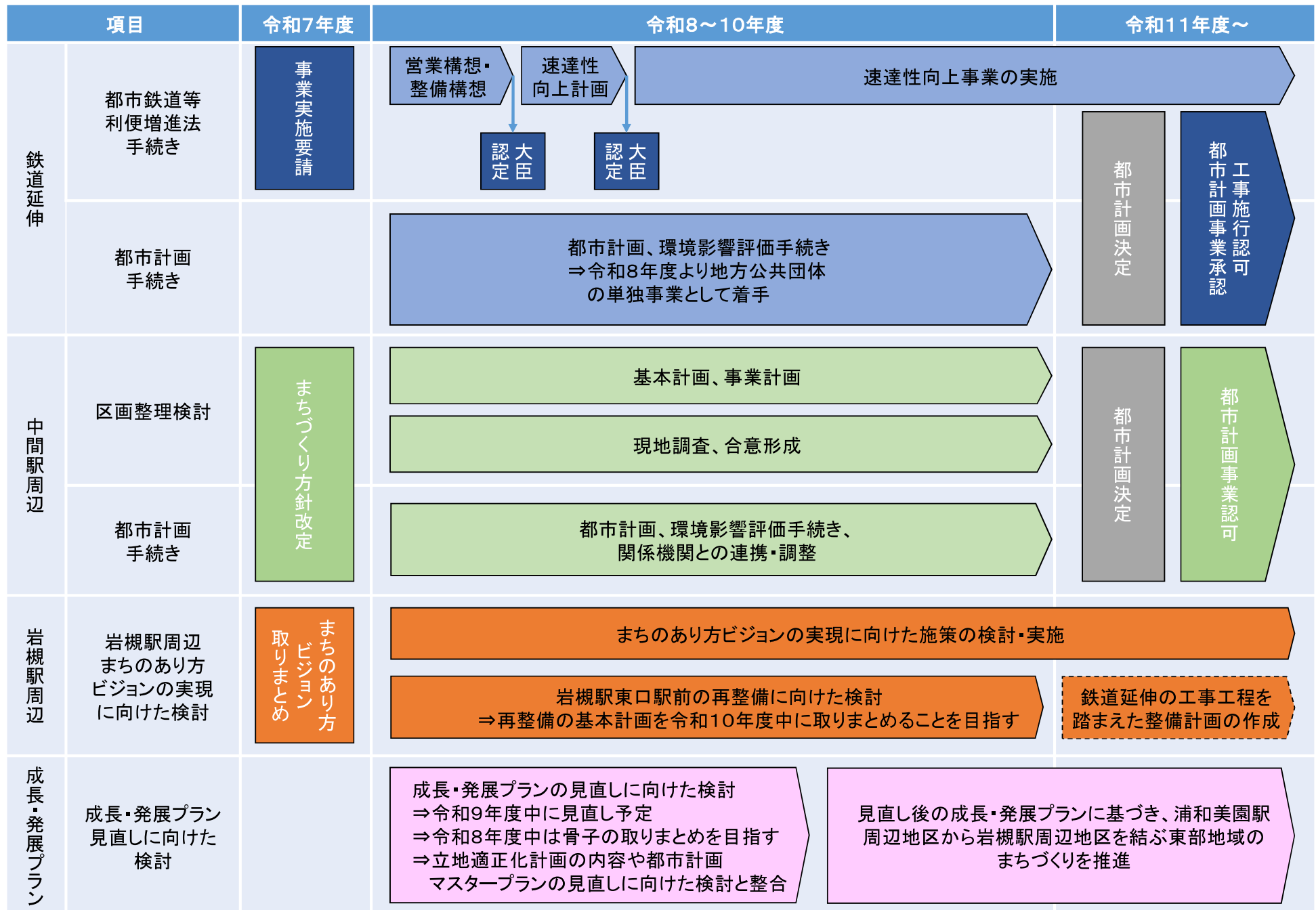
○駅前広場再整備の基本方針の検討

○基本方針を踏まえた複数の施設配置案の検討

※上記はイメージの一例であり、具体的な事業等は今後検討されます。

(7) 今後のスケジュール

■ 中期スケジュール



(7) 今後のスケジュール

■ 令和8年度スケジュール

項目	令和8年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
鉄道延伸事業	鉄道事業者による営業構想・整備構想作成の支援（現況測量、地質調査、概略設計）											
	環境影響評価手続き（条例アセスに係る調査計画書手続き、現地調査）											
中間駅周辺 まちづくり	各種施設計画・造成計画等の検討											
	現況測量等の実施											
	基本計画 取りまとめ											
	中間駅まちづくり方針の実現に向けた施策の検討											
	農林調整協議に係る資料作成・協議											
	環境影響評価手続き（法アセスに係る配慮書・方法書手続き）											
岩槻駅周辺 まちづくり	地域との共創の取組（説明会・勉強会等実施）											
	岩槻駅東口駅前広場及び周辺の利用実態・ 交通実態の調査・把握											
	環境空間及び交通空間の必要な施設・規模等の検討											
	岩槻駅東口駅前広場の基本方針の検討											
	交通事業者・道路管理者等の意見把握											
	エリアマネジメントに向けた地域の意見の把握											
成長・発展プラン の見直し	現行成長・発展プランの評価及び課題の抽出											
	目指すべき将来像・コンセプトの検討											
	将来像・コンセプトの実現に 向けた施策の検討											
	改定骨子の 取りまとめ											

浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議

委 員 名 簿

(R8.5.1時点)

No.	役 職	所 属	職 名	氏 名	備 考
1	座 長		市長	清 水 勇 人	
2	副座長		副市長	日 野 徹	
3			副市長	佐 野 篤 資	
4			副市長	新 屋 千 樹	
5	委 員	都市戦略本部	本部長	大 塚 一 晴	
6		財政局	局長	前 田 茂 人	
7		市民局	局長	渋谷 仁	
8		スポーツ文化局	局長	石 塚 正 歳	
9		子ども未来局	局長	千 葉 三 文	
10		環境局	局長	田 中 賢 行	
11		経済局	局長	石 井 保	
12		都市局	局長	蓮 見 純 一	
13		建設局	局長	斉 藤 稔	
14		見沼区	区長	川 田 公 昭	
15		緑区	区長	竹 内 成 仁	
16		岩槻区	区長	銭 場 祥 晃	
17		教育委員会	副教育長	大 砂 武 博	

令和8年度 第1回浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 議事概要

1 日 時 令和8年6月1日（月） 11：10～11：35

2 会 場 さいたま市役所 本庁舎4階 政策会議室

3 出席者 別紙の出席者名簿のとおり

4 議事概要

（1）座長開会挨拶（清水市長）

- ・ 本日の会議のテーマである、「浦和美園～岩槻にかけての東部地域の成長・発展の取組」と「地下鉄7号線延伸事業及び沿線周辺のまちづくり」は、両輪で進めていくことで、東日本の中核都市づくりにつながる大変重要な取組である。
- ・ 本プランに係る直近の大きな動きとして、地下鉄7号線の延伸について、令和7年度末に、都市鉄道等利便増進法に基づき、鉄道事業者への事業実施を要請するとともに、速達性向上事業に関する計画の素案を鉄道事業者に提示した。
- ・ 中間駅周辺のまちづくりについても、鉄道延伸と一体的な事業化に向けて、「中間駅まちづくり方針」の改定を令和7年度中に行ったところである。
- ・ 岩槻駅周辺についても、延伸により鉄道結節点となることから、ポテンシャルの向上を活かしたまちづくりの推進に向けて、「岩槻駅周辺まちのあり方ビジョン」を策定した。
- ・ こうした局面において、全庁で連携し、成長・発展プランの実践方策をさらに推し進めることが、鉄道延伸事業等の実現、ひいては東部地域の成長と発展にとって非常に重要となると考えている。
- ・ 委員の皆様には、活発な御発言をお願いするとともに、今後も引き続き、成長・発展プランの推進に向け、全庁的な推進に御協力いただきたい。

（2）議事（1）及び（2）に関する事務局説明（未来都市推進部副参事）

- （1）成長・発展プランのこれまでの経緯
- （2）令和7年度の実績及び実践方策へのフィードバックを一括して説明。

（3）議事（1）及び（2）に関する意見交換

（清水市長）アンケート調査の結果で、浦和美園駅周辺地区での住みやすさや賑わい・活気に係る満足度が、想定しているより低い。アンケート結果が示すより、実際の浦和美園駅周辺地区は魅力があると考える。

（4）議事（3）～（7）に関する事務局説明

- （3）地下鉄7号線延伸事業の取組状況
- （4）地下鉄7号線中間駅まちづくり事業の取組状況
- （5）岩槻駅周辺のまちのあり方ビジョンの実現化の検討
- （6）成長・発展プランの見直しに向けた取組
- （7）今後のスケジュールを一括して説明。

（5）議事（3）～（7）に関する意見交換

（新屋副市長）

- ・ これから成長・発展プランを見直していく中で、長期と短中期の時間軸の話が両方

入っているので、両面をうまく整理して計画をまとめてほしい。

- ・長期の時間軸では、複数の事業を着実に実施できるようにしつつ、短中期で取り組むべきことも多くあるはずである。

(未来都市推進部副理事)

- ・成長・発展プランの見直しの中では、短期で取り組むこと、長期で取り組むことを整理する必要があると考えている。今回、基本計画と行動計画を一体的に見直すことを考えており、直近の5年間、将来の10年間というように、時間軸を意識した計画としていきたいと考えている。

(清水市長)

- ・昨年度、これまでの地下鉄7号線延伸の効果に関する報告書をまとめており、内容を少しコンパクトにまとめたうえで、対外的にアピールした方が良いと考える。
- ・建築費が高騰し、事業として実施すべきかどうかという議論が出ている中で、地下鉄7号線延伸の効果が高く、投資が回収できるということをしっかりと理解してもらうことが重要であり、そういう視点での対外的な発信を心掛けてもらいたい。

(6) 座長より会議の総括(清水市長)

- ・東部地域の成長・発展の取組は、本市全体の発展にとって重要な施策であり、全庁的な取り組みが必要。
- ・各局等においては、引き続き連携し、東部地域の成長・発展の取組について、着実に進めていただきたい。
- ・地下鉄7号線延伸及び延伸に伴うまちづくりの進捗と併せ、東部地域では、関連する核都市広域幹線道路や産業集積拠点など、大きなプロジェクトが推進されている。
- ・こうした事業と密に連携を図り、相乗効果を生み出しながら、東部地域の総合的な地域発展につながるよう努めていただきたい。
- ・各取組を進めるうえでは、地域住民に対し、適切な情報提供と丁寧な説明を行うことで、信頼関係の構築にも努めていただきたい。

【事務局】都市戦略本部 未来都市推進部